

Agri Heart Center



アグリハートセンターの基本理念（テーマ）

小清水高等学校は、昭和 25 年の開校から平成 30 年の閉校までの間、地域を担う多くの人材を育んできました。この精神を受け継ぎ「地域の学びの場を新たなステージへ 小清水の未来を育む拠点づくり」をテーマに、新たな産業、雇用、人々を育てる拠点としてアグリハートセンターが整備されました。

住所およびお問合せ先：

〒099-3642

北海道斜里郡小清水町南町 1 丁目 29 番 18 号

株式会社 小清水農業振興公社

TEL:0152-67-5716 Fax:0152-62-2223

アグリハートセンターの由来

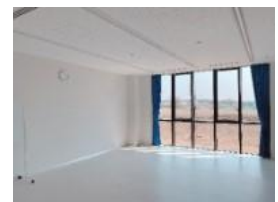
小清水町の基幹産業である『農業（アグリカルチャー）』
+ 小清水高校校訓「望岳拓心」の『心（ハート）』

農業に携わる多くの人が心を通わせ集う場所になってほしいという想いが込められています。

愛称の『フェリーチェ』はイタリア語で『幸福』の意



センターハウスには隔当たりがとても良いラウンジがあり、訪れた人々に憩いと交流の場としてご利用いただけます。



農業者や農業研修生を育成する担い手養成の場の教室を配置しております。Z室架けでの使用も可能です。



商品開発室として、個人・グループ問わず、地域の皆様が食品の製造や開発研究にご利用いただけます。



キャスルームは、商品開発室からの視界が良く、お子様の様子を見ながら作業することが可能です。

株式会社 小清水農業振興公社

アグリハートセンターの事業内容

★農作業の支援（畑作）

畑作農家の忙しい時期に、農作業の支援を行います。

作業内容は時期によってさまざまですが、主に機械で苗を植えた後のビートの手作業での補植、鍬を使った除草、機械で収穫した農作物の選別、積込みなどを行います。

★農業体験・研修受け入れ

★農産物加工

★その他小清水町農業の振興に関すること

農作業の様子



ごぼうの収穫作業



玉ねぎの除草作業



スタッフ一同

性別・経験を問わずできる
お仕事です。

農作業の経験を積むこともでき
ます。

施設の紹介



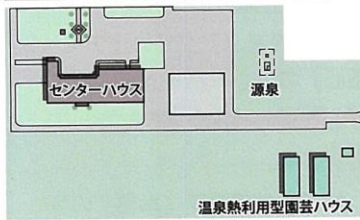
○商品開発室・キッズルーム
個人・グループを問わず、地域の皆さんが食品の製造や開発研究にご利用いただけます。
キッズルームは、商品開発室からの視界が良く、お子様の様子を見ながら作業をすることが可能です。



○商品製造室
町の特産物による加工品を商用に製造・販売するための工場です。
じゃがいもスイートポテトや特産物を活用した新商品を製造します。



○温泉熱利用型園芸ハウス
通年での農作物販売による収益確保のため、温泉熱を活用し冬期間も利用可能な園芸ハウスを2棟設置しています。



☆温泉資源の有効活用
町のエネルギー資源である温泉をセンターハウスの床暖房や給湯設備、歩道のロードヒーティング、園芸ハウスの熱源として有効利用することでランニングコストの低減とCO2排出量削減の取り組みに寄与します。



○メモリアル広場・外構・駐車場
植栽を設けることで景観との一体化を図りつつ、小清水高等学校の校門、記念碑や記念樹などの面影を随所に残し、歴史を未来に継承します。
駐車場は24台の駐車が可能で歩道をロードヒーティングすることで利便性を高めています。



○交流室・テラス
センターハウスには、メモリアル広場と南側景観との繋がりを意識した交流室とテラスを配置し、訪れた人々に憩いと交流の場として利用いただけます。



○スタッフルーム
農業支援スタッフの活動拠点です。
町内全域の圃場へ農業支援に行くスタッフのミーティングや作業準備に活用します。



○教室・宿泊室
農業者や農業研修生を育成する担い手養成学校運営のための教室を2室配置しています。
農業研修、農業体験ツアー、短期雇用支援スタッフ向けの宿泊室を13室設け、滞在型の研修や就労を実現します。
※1室2名×12室
バリアフリー1名×1室



アクセス

女満別
空港

車で

約45分 約36km

アグリハート
センター

バスで

網走バス 路線バス
約30分

網走
バスターミナル

網走バス 路線バス
約30分

JR
浜小清水

網走バス 路線バス
約25分

小清水
市街

JR
網走駅

車で

約40分 約30km

アグリハート
センター

JRバスで

JR
約25分

JR
浜小清水

網走バス 路線バス
約25分

小清水
市街

